

平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 株式会社グローバルダイニング 上場取引所 東
 コード番号 7625 URL http://www.global-dining.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川 耕造
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員最高財務責任者 (氏名)中尾 慎太郎 (TEL)03-5469-3222
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	7,361	2.7	△81	—	△44	—	△81	—
29年12月期第3四半期	7,169	1.5	△124	—	△120	—	△146	—

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 △79百万円(—%) 29年12月期第3四半期 △171百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	△7.99	—
29年12月期第3四半期	△14.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	6,895	3,818	55.1
29年12月期	7,122	3,889	54.3

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 3,800百万円 29年12月期 3,866百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	9,911	1.0	50	—	82	—	29	2.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年12月期 3 Q	10,225,400株	29年12月期	10,138,000株
② 期末自己株式数	30年12月期 3 Q	551株	29年12月期	310株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年12月期 3 Q	10,158,417株	29年12月期 3 Q	10,081,332株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されるものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響などにより先行き不透明な状態で推移しました。

外食産業におきましても、消費マインドに持ち直しの動きがみられ、穏やかに上昇してきております。

こうした中、当社グループは顧客満足度を高めるため、商品・サービスおよび空間の品質向上を実施いたしました。健康志向・インバウンド層など多様化するマーケットに適応するメニューや業態の開発、人材の発掘と教育に力を入れサービスの向上に取り組みました。また、3月に新宿区に「デカダンス ドュ ショコラ 新宿京王」、5月に渋谷区に「権八 NORI-TEMAKI 原宿」、7月にはさいたま市に「モンズーンカフェ さいたま新都心」を新規出店いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、73億61百万円（前年同期比2.7%増）となり、当第3四半期連結累計期間末の総店舗数は53店舗となりました。

損益につきましては、営業損失は81百万円（前年同期は営業損失1億24百万円）、経常損失は44百万円（前年同期は経常損失1億20百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は81百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億46百万円）となりました。

報告セグメントについては、当社グループはレストラン経営を主とする飲食事業という単一セグメントでありますので、記載を省略しております。

売上高をコンセプト（営業形態）別にみると、「ラ・ボエム」は19億41百万円（前年同期比3.5%減）、「ゼスト」は3億4百万円（同6.1%増）、「モンズーンカフェ」は16億95百万円（同3.3%減）、「権八」は20億43百万円（同10.7%増）、「ディナーレストラン」は6億25百万円（同5.6%増）、「フードコロシアム」は1億61百万円（同1.7%減）、「その他」は5億88百万円（同14.6%増）となりました。既存店売上高につきましては、前年同期比2.1%の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して2億27百万円減少し、68億95百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して2億83百万円減少し、9億37百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が1億54百万円、受取手形及び売掛金が86百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して55百万円増加し、59億57百万円となりました。主な変動要因は、差入保証金が41百万円増加したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末と比較して3億6百万円増加し、16億71百万円となりました。主な変動要因は、1年内返済予定の長期借入金が4億27百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が86百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して4億63百万円減少し、14億5百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が4億20百万円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して70百万円減少し、38億18百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金が81百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年2月13日に公表いたしました「平成29年12月期 決算短信」の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	520,717	365,995
受取手形及び売掛金	330,674	243,760
商品及び製品	20,433	16,603
原材料及び貯蔵品	177,100	158,818
その他	171,924	152,612
流動資産合計	1,220,850	937,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,478,538	8,617,019
減価償却累計額	△6,245,939	△6,356,722
減損損失累計額	△590,844	△609,065
建物及び構築物(純額)	1,641,753	1,651,232
土地	2,655,895	2,659,646
その他	250,170	259,016
有形固定資産合計	4,547,820	4,569,895
無形固定資産	4,426	4,366
投資その他の資産		
差入保証金	1,313,970	1,355,400
その他	35,804	28,147
投資その他の資産合計	1,349,774	1,383,548
固定資産合計	5,902,022	5,957,809
資産合計	7,122,872	6,895,600

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	394,412	307,461
1年内返済予定の長期借入金	225,486	652,739
未払法人税等	48,494	18,046
引当金	-	15,000
資産除去債務	-	27,462
その他	695,903	650,302
流動負債合計	1,364,295	1,671,011
固定負債		
長期借入金	1,204,988	784,014
退職給付に係る負債	39,061	39,490
資産除去債務	574,532	540,901
その他	50,432	41,274
固定負債合計	1,869,014	1,405,682
負債合計	3,233,310	3,076,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,478,831	1,485,443
資本剰余金	2,133,831	2,140,443
利益剰余金	383,337	302,188
自己株式	△244	△315
株主資本合計	3,995,755	3,927,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,878	6,342
為替換算調整勘定	△137,255	△133,957
その他の包括利益累計額合計	△129,377	△127,614
新株予約権	23,184	18,761
純資産合計	3,889,562	3,818,906
負債純資産合計	7,122,872	6,895,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	7,169,631	7,361,055
売上原価	6,577,151	6,725,399
売上総利益	592,480	635,656
販売費及び一般管理費	716,551	717,128
営業損失(△)	△124,071	△81,472
営業外収益		
協賛金収入	26,041	25,000
その他	19,644	25,276
営業外収益合計	45,686	50,276
営業外費用		
支払利息	17,463	9,940
為替差損	24,101	1,478
その他	962	2,028
営業外費用合計	42,527	13,447
経常損失(△)	△120,913	△44,643
特別損失		
減損損失	9,176	19,688
投資有価証券評価損	7,075	4,229
特別損失合計	16,251	23,918
税金等調整前四半期純損失(△)	△137,165	△68,561
法人税、住民税及び事業税	10,384	12,153
法人税等調整額	△1,517	434
法人税等合計	8,867	12,588
四半期純損失(△)	△146,032	△81,149
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△146,032	△81,149

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純損失(△)	△146,032	△81,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47	△1,535
為替換算調整勘定	△25,677	3,298
その他の包括利益合計	△25,725	1,762
四半期包括利益	△171,757	△79,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△171,757	△79,386
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、退店等の新たな情報の入手に伴い、店舗の退去時に必要とされる原状回復費用及び店舗の使用見込期間に関して見積りの変更を行いました。

割引前将来キャッシュ・フローの見積りの変更による減少額を変更前の資産除去債務残高から減算しております。また、除却時期を見直し、将来にわたり変更しております。

当該見積りの変更の結果、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純損失は28,221千円減少しております。